

令和元年度日本医学放射線学会北日本地方会  
秋季世話人会議事録

台風による影響で 令和元年 10 月 12 日（土）の世話人会は開催されませんでした。メールでの会議とさせていただきます。

議 題

1. 前回（第 140 回）議事録確認

（特にメールでの質問、修正などのご意見はありませんでした。）

2. 報告事項

1) 北海道大学大学院医学研究院 放射線科学分野 放射線医学教室  
影井 兼司先生 ご逝去

理事会動向

高瀬世話人よりメール回覧にて報告

- ① 秋季大会は、会場の関係上事前登録、教育講演 VTR 等の工夫がなされているので、大会 HP を参照の上ご参加いただきたいと思います。必須、領域講習の混雑緩和のために事前予約システムを構築予定で、キャンセル対策のために若干の予約料を取る予定です。今回の北日本地方会のように、講習会を複数の学会に分散し、地方でも無理なく受講できるような工夫を引き続きお願いしたいと考えます。
- ② 年度から年会費支払いがカード対応となりましたが、支払いをする会員が少なく、遅れています。やむなく例年通りの紙の振込書を送りましたが、来年度からはできるだけカード払い対応をお願いします。
- ③ 議員選挙立候補締め切り 10 月 15 日、理事選締め切り 12 月 18 日にて改選が行われます。代議員会報告事項にはなりますが、理事数を定款上限の 18 人に増加予定です。
- ④ 専門医制度に関して、当初厚労省から放射線科に厳しいシーリングが課せられましたが、JRS、JCR からの働きかけの効果もあり、緩和されました。5 名以下のシーリング県は全て廃止され、北日本にはシーリングはありません。東京のシーリングが 38 人、大阪 16 人の厳しいシーリングは残りました。DPC を基準とした医師数算定がされており、外来診療の多い放射線科の特徴や、最近 20 年の業務量増加、放射線科の読影している画像が半分以下であること等を引き続き厚労省に連絡して、緩和に努めます。今後も諸資料作成の際はご協力をお願いいたします。

- ⑤ 専門研修の管理システムを京葉コンピューターに依頼し、IT ワークグループにて JASTRO とも連携しながら構築中です。オンライン入力管理への移行を進めていきますが、現状は HP から提供されるエクセルファイル管理となります。会員管理システムを元に指導医・専攻医の在籍管理を行い、症例・業績等の実績を登録していきます。ID,PW 認証で、各役割に応じたメニューが表示されるようなシステムになる予定です。
- ⑥ 診療放射線技師カリキュラム改善委員会からの報告として、技師会からはカリキュラム中に「画像診断」を入れたいとの申し入れがあったが、「撮影に必要な知識技術としての画像診断」を学ぶことに留め、画像診断は前提としないこととしました。医師法に基づき、「一次読影」と呼ばれるものは、放射線技師は行えないという見解です。
- ⑦ J-RIME（医療被曝研究情報ネットワーク）の診断参考レベルのアンケート調査が予定されていますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
- ⑧ 放射線科専攻医の一次募集の登録人数が年々減少している。一昨年から今年まで順に、263 人、234 人、225 人であり、今後一層の勧誘を行う必要がある。
- ⑨ 令和 2 年 4 月より、エックス線装置等を備えている病院または診療所の管理者は、診療用放射線の利用にかかる安全な管理のための責任者を配置し、医療放射線安全管理責任者は、診療用放射線の安全利用のための指針を策定することが必要となる。学会の HP にガイドラインひな形が up されているので、活用して各病院で指針策定と監査対応を行っていただきたい。

2) 各種委員会報告 : 特になし

3) 第 142 回春季地方会案内 (旭川医科大学・沖崎貴琢 世話人)

2020 年 7 月 11 日 (土) 旭川市大雪クリスタルホール

領域講習は 1 時間の予定

4) 第 143 回秋季地方会案内 (東北大学・神宮啓一 世話人)

2020 年 11 月 6 日 (金) ~7 日 (土) 長陵会館

5) 第 144 回春季地方会案内 (福島県立医科大学・伊藤浩 世話人)

### 3. 協議事項

1) 第 145 回秋季地方会当番世話人について ; 未定、東北大関連で調整中

2021 年秋 期日未定

2) 第 146 回春季地方会 (2022 年春開催) 当番世話人について ;  
順番からは新潟の先生方をお願いする予定。

新潟大学の世話人の先生を中心に次回までにご相談をお願い

秋田→ 北海道→ 山形→ 岩手→ 青森→ 北海道→ 福島 →  
132 回 134 回 136 回 138 回 140 回 142 回 144 回

### 3) 名誉会員推薦

高橋 昭喜先生 (東北大学 名誉教授)

福田 寛先生 (東北医科薬科大学医学部)

### 4) 世話人推薦

掛田 伸吾先生 (弘前大学 新教授就任)

### 5) 高瀬世話人より別のメールでの提案事項

『研修医の先生から質問をいただきましたので、今回の演題発表について、ご提案させていただきます。

専攻医の放射線科専門研修プログラム中には、

7. 研修方略、(2) 専門研修 2 年目・3 年目 の研修内容に、国内外での学会発表  
が記載されており、

8. 研修実績の記録、2) 「研修手帳への記録」内に「学術業績記録」  
の記載が必要となっております。

研修手帳内では、「総括評価 (学会発表)」のシートになります。

小山大会長と相談いたしました。今回発表中止となる演題について、抄録提出を条件として研修実績としての記載を認める扱いにはいかがでしょうか。後日の地方会で、今回の演題を発表することは妨げず、むしろ推奨したいと考えますが、こちらはいかがでしょうか。不安に感じている若手医師もいますので、大会長から本日冒頭にその旨お伝えしていただきたいと考えます。学会の専門医制度委員長には、私から問い合わせいたします。』

## 4. その他

・北日本臨床研修医・医学生のための放射線セミナー

開催実績報告および第 8 回セミナーアンケート結果 【添付①②】

【添付①】

北日本臨床研修医・医学生のための放射線セミナー 開催実績報告

◆参加者◆

	第1回 (札幌)	第2回 (新潟)	第3回 (福島)	第4回 (秋田)	第5回 (札幌)	第6回 (山形)	第7回 (岩手)	第8回 (青森)	合計
参加 人数	30名	21名	31名	32名	34名	28名	22名	26名	224名
のちの 入局者	11名	8名	13名	4名	5名	2名	2名	1名	45名

※複数回参加者は一番最初の参加回にカウント。当日の飛び入り参加も含めた人数。

◆経費◆ (単位：円)

	第1回 (札幌)	第2回 (新潟)	第3回 (福島)	第4回 (秋田)	第5回 (札幌)	第6回 (山形)	第7回 (岩手)	第8回 (青森)
旅費	368,230	370,070	694,440	617,210	795,920	590,682	—	—
印刷費	0	9,765	10,044	10,044	8,640	8,640	8,208	9,720
通信費	4,101	6,110	8,780	5,678	5,880	8,179	8,760	5,222
その他	6,825	30,058	33,472	21,878	42,230	33,120	10,000	11,296
合計	379,156	416,003	746,736	654,810	852,670	640,621	26,968	26,238

※その他→事務用品代、賞品代など。第7回からは旅費については各大学負担。

- 第1回：平成24年6月30日（土） 札幌市 北海道大学 学術交流会館
- 第2回：平成25年6月15日（土） 新潟市 新潟大学駅南キャンパス ときめいと
- 第3回：平成26年6月28日（土） 福島市 コラッセふくしま
- 第4回：平成27年6月27日（土） 秋田市 にぎわい交流館AU
- 第5回：平成28年6月18日（土） 札幌市 ホテルさっぽろ芸文館
- 第6回：平成29年6月17日（土） 山形市 山形テルサ
- 第7回：平成30年6月23日（土） 盛岡市 アイーナ
- 第8回：令和元年6月22日（土） 弘前市 アートホテル弘前シティ

【添付②】

第8回 北日本臨床研修医・医学生のための放射線セミナー アンケート集計結果  
 ※回答：26名

	とても面白い	面白い	まあまあ面白い	あまり面白くない	つまらない	未回答
若手放射線科医から「診断」	12	10	3	0	0	1
若手放射線科医から「治療」	10	10	5	0	0	1
基調講演①「治療」	21	5	0	0	0	0
基調講演①「診断」	10	13	3	0	0	0
基調講演①「IVR」	11	12	3	0	0	0
基調講演②「核」	5	18	3	0	0	0
基調講演②「女性放射線科医から」	10	11	4	0	0	1
特別企画	9	12	4	0	0	1
Case Based Study「診断」	13	9	3	0	0	1
Case Based Study「治療」	8	11	4	1	0	2

◆全体的感想

とても満足で来て良かった・・・12  
 満足・・・・・・・・・・・・・8  
 ふつう・・・・・・・・・・・・・2  
 やや不満・・・・・・・・・・・・・0  
 不満、来なければよかった・・・0  
 未回答・・・・・・・・・・・・・4

◆セミナー時間

長すぎる・・・・・・・・・・・・・0  
 やや長い・・・・・・・・・・・・・12  
 適当・・・・・・・・・・・・・10  
 やや短い・・・・・・・・・・・・・0  
 短すぎる・・・・・・・・・・・・・0  
 未回答・・・・・・・・・・・・・4

◆放射線科医に

- なることに決めた・・・・・・2
- なりたくなかった・・・・・・8
- なるかもしれない・・・・・・6
- まだわからない・・・・・・6
- ならないと思う・・・・・・0
- 未回答・・・・・・4

◆このセミナーへの感想・要望・今後取り入れた方がよい内容など

- ・ 診断、治療どちらも引き込まれる講演がたくさんあり、放射線科の魅力をこれまで以上に感じることができました。また AI について放射線科以外の Dr. から今後の不安を感じさせるようなことを言われたことも何度かありましたが、その不安が払拭されてよかったです。
- ・ 放射線治療、IVR、核医学にも興味持つことができました。ありがとうございました。
- ・ 地方会で行われているイメージインタープリテーションも見たかったのにそれが見れないのは残念だった。
- ・ 隣の会場で行われているセッションも見に行けるとよかったです。
- ・ 会場の性質上、スライドが小さく読みづらかったので改善を求めます。特にアスペクト比が異なるスライドが多く、統一された方がよいと考えます。(大きく画面を使えます)
- ・ 永倉先生の講演には非常に勇気づけられました。放射線科医として素晴らしい憧れを感じました。
- ・ 最後になり恐縮ではございますが、今日 1 日とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 今後参考となる知識をたくさん知れた。又、AI の話を含め、今後の医師像に関しても参考となる内容が多く、大変勉強になった。講演いただいた先生方、この会を盛り上げてくれた先生方、大変ありがとうございました。
- ・ クイズが難しかったです。主に出题者の題意を読みすぎたのが原因ですが。
- ・ こんなにも多彩な内容のご講演をじっくり拝聴できると思っていなかったもので、大変勉強になりましたし楽しかったです。授業や実習で教わらないエッセンスが各所に散りばめられていて、来てよかったですと思いました。特に鹿戸先生の AI のお話は知らなかったことばかりで、興味深く拝聴しました。先生方のコメントにも聞き入っておりました。私も AI を勉強しなくては…と思う次第です。女性の先生のワークライフバランスのお話をより多く聞けると嬉しいです。様々な先生方の個性を感じることができたのが大変面白かったです。今後もそのようなセミナーをお願いしたいです。
- ・ 特別企画が通り一辺倒の議論にならず、知識ある学生や先生方のお話を聞いたのがよかったです。
- ・ AI と放射線との関係が今後どのように変わっていくのか、仕事をやっていくうえで気になっていました。1つのツールとしてどの診療科に行っても、関係していくが、人と人とのかわり全てが取って代わることがないというのは想像できますので、セミナーに参加できてよかったですと思いました。
- ・ 放射線科の中でも様々あって、幅広い分野でおもしろいと思いました。

- AIの話とても興味深かったです。Case based studyがとても面白かったので無限にやってほしいです。
- case based studyは診断・治療ともに考える過程が面白かったです。
- 若手の先生、女医の先生からお話を聞いたのが良い機会だった。
- 内容が充実していて良かった。
- とても放射線科についての講義を受けられたので良かったです。貴重なご講演を受けることができ、今後のモチベーションに繋がりました。
- 様々な切り口からの講演が聞けて、とても楽しくまた参考になりました。雰囲気もとても良くて居心地の良い会でした。内容1つ1つは興味深かったのですが、短い休憩時間で立て続けに多くの講演を聞くのはやや負担が大きく、せっかくの講演がもったいないので、4、5個くらいの演題くらいだと、ちゃんと聞けるかと思います。

参加者：合計 26 名（アンケート回答者 26 名）  
研修医 8 名、医学部学生 18 名

日本医学放射線学会北日本地方会

令和 2 年度事業計画

1. 定期学術集会の開催

春季（第 142 回）：

旭川医科大学 沖崎 貴琢 世話人

令和 2 年 7 月 11 日（土）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、web 上にて開催

秋季（第 143 回）：

東北大学 神宮 啓一 世話人

令和 2 年 11 月 6 日（金）7 日（土）

仙台市 良陵会館

2. セミナーの開催

第 9 回北日本臨床研修医・医学生のための放射線セミナー

第 142 回地方会 web 開催に伴い、中止



## 【資料 3】

## 令和元年度 会計報告

2019年3月1日～2020年2月29日

科 目	合 計	内 訳
I 収入の部		
日医放本部より分配金	1,375,500	
令和元年度地方会残金	781,055	第140回、141回運営費残金
その他	11	利子
当期収入合計(a)	2,156,566	
前期繰越収支差額	1,044,734	平成30年度繰り越し分
収入合計(b)	3,201,300	
II 支出の部		
税金	31,462	
補助費	400,000	第141回東北医科薬科大学へ
	400,000	第142回旭川医科大学へ
通信費	42,318	書類送付代、切手代
印刷費	130,330	葉書、封筒印刷等
広告費	130,400	HP更新料
出張費	101,275	学会出張旅費等
慶弔費	86,830	祝賀会供花代等
その他	354,545	振込手数料、物品購入等
当期支出合計(c)	1,677,160	
当期収支差額(a-c)	479,406	
次期繰越収支差額(b-c)	1,524,140	(単位：円)